

「教員の資質能力向上に係る先導的取組支援事業」に関する成果の報告書

平成26年3月26日

長野県長野市平林2丁目12番21号
NPO法人長野教師力向上NET
代表 小松裕明

I (1) 各講座の参加者層と参加人数

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	10回	11回
	学級集 団	国語の基 礎学力	教科書・ ノート	いじめ・ 不登校	特別支 援(1)	特別支 援(2)	道徳	英会話	トラブル	算数・国 語	新年度
学生	4	6	3	5	4	4	1	1	4	5	5
講師	0		1	0	4	5	2	2	3	2	4
新卒から5年	0		0	1	8	0	1	1	0		1
6～10年	0	4	1	4	3	4	1	1	2	1	3
11～以上	0	4	8	7	17	22	8	2	3	1	5
不明				0	9	14	0	6	3	0	5
合計	4	14	13	17	45	49	13	13	15	9	23

(2) 参加者人数について

- ① 会場との調整と講師選定の調整に時間がかかり、チラシが出来上がったのが直前になってしまったため、長野県内全小・中学校に人数配布したが、第1回目は、参加者が少なかった。
- ② だんだん参加者数が増えてきて、特別支援対応の講座は、参加者数が一番多かった。ニーズが高いということが分かる。
- ③ 2月8日(土) 2月15日(土) 近年まれに見る大雪にぶつかってしまい、交通網がストップしたために、当日キャンセルが相次いでしまった。
- ④ 無料の講座でも、休みの日まで仕事のことを考えたくないとか、子どもが荒れるのは子どものせいと考えることが、伺えた。(参加者が同僚に勧めたけど・・・の話より)

II 各回の講座内容と一部アンケート内容 ●は講座に対しての要望・希望

実施講座	実施内容
第1講座 10月26日(土) 午前 学級集団の動かし方・子どもの動かし方の法則と困っていること相談 ^	第1講座 メンタルヘルスから「教師力」の向上を考える 第2講座 子どもを指導するときのポイント 第3講座 学級集団の動かし方 第4講座 学級指導で困ったこと事例と対応策

アンケート内容

QA・現場の話をベースに質問に答えていただき、とても勉強になりました。多くの講座で自分意見を求められたので、そこで頭を使って考えることができ、大学の一方的な講義よりも、能動的に受講することができました。子どもの姿が浮かんでくる実践的な内容だったので、実際の指導に直結していると思いました。

教育学部学生2

一般の教師は、理屈を並べて相手を説き伏せるが、相手がなぜ、騒いでいるかを理解すべきだということが印象的だった。大学では教えてもらわないリアルの現場の話が聞け、解決策が分かってよかった。演習をしながらの進行は、分かりやすかった。

●実際の場面を写真や動画で見たいと思いました。

教育学部学生4

具体的な場面で、教室にいそうな子ども・出会いそうな教師の対応場面について、考えることができ、対応策を知ったり、先生方の考えを聞けて、新しい発見がありました。「うちの子が学校へ行きたくないと言っている。」「不登校の子が久しぶりに学校へ来た。」など、どうしたらいいのかわかりませんでした。こう声をかけたらいいいのだということがわかりました。

●学級集団をどう動かしているのかを知りたいです。

第2回 10月26日(土)午後
国語の基礎学力を保証する漢字
指導 音読指導 1字読解指導
清泉女学院大学

第1講座 音読指導 さまざまな音読のやり方と授業での躰
第2講座 漢字に興味を持ち、楽しく覚えられる漢字文化の授業
第3講座 どの子ども漢字ができるようになる漢字スキルを使う極意
第4講座 子どもが教科書を読むようになり、国語の答え方の力が
つく
1字読解の授業

アンケート内容

6年目教師

音読は飽きてしまうのではと心配になり、何回かで終わらせてしまうことがありました。今回は男女交替読みやタケノコ読み指名なし読みなどいろいろな音読指導を教えてくださいました。漢字文化の指導では成り立ちや意味について興味を持たせることができると思いました。教科書を使って書いてある文章を正しく読み取る力をつける指導を教えてくださいました。1字1字に教師がこだわって教材研究すること・教室が2つにわかれるような発問を通して、子ども達に討論させることをテンポよくやっていくと子どもも楽しく学べそうだと思います。

●音読の評定をつけると盛り上がりますが、そのバリエーションを教えてくださいたいです。

●1つの教材で1コマの授業の流れを見たいです。

教員4年目

音読のスピードや巻き込み感が参考になりました。タケノコ読みを説明文で扱うのも初めてでした。1字読解の指導の方法もわかりました。

●音読で、長文の教材を飽きずに読むコツがあれば教えてくださいたい。

6年目教師3

音読指導が大変参考になりました。大学や教育センターの研修では軽視されているのか「できるだろう」と思われているのか、今回のような具体的な指導法に関して言及されませんでした。私の新卒のころ、どうやって文章を読ませるのか苦労しました。そのようなことから授業がつまらなくなり、安定しなくなるのだと感じました。まずは、きちんと読めてからでないと文章の読解ができないと改めて感じました。こ

れだけレパトリーを教えていただければ、経験が浅くても、よい授業を提供できます。職場の同僚にも薦めます。

第3回 11月9日(土)
午前
「教科書・ノートを使った子どもに力をつける算数の指導法」

- 第1講座 なぜ今「教科書・ノートを使った算数授業なのか」
○算数授業で教科書・ノートを使う意義について解説
- 第2講座 教科書・ノートを使った算数模擬授業と解説
①低学年 挿絵を使った授業 ②中学年 説明させる授業
③中学 説明しない数学の授業 ④解説
○45分間の授業は①例題指導②練習問題③計算スキルの3つのパーツで成り立つ。
- 第3講座 教科書・ノートを使った算数授業の作り方
○練習問題の場面を扱う
- 第4講座 ていねいで力のつくノート指導
○中学生の数学ノートの実物をみる
○中学生の授業に合わせて実際にノートを書くことで、ノートの書き方を体験した。
- 第5講座 長野県の学力実態と今後の課題
○教科書の問題がきちんと解かれないままに授業が進んでしまっていること
○教科書の発展として「難問」を扱い、考える力を養う。
- 第6講座 算数を大好きにさせるQ&A

アンケート内容

中堅教師女性

模擬授業と解説というスタイルで、テンポよく引き込まれるようでした。自分の参加できる体験型で、いろいろなことを感じながら、充実した時間を過ごすことができました。自分の授業スタイルを見直し、明日からの授業改善のヒントをたくさんいただきました。ありがとうございました。

中堅教師男性

ゆったり進んでいただいたので、模擬授業や講座についていくことができました。

「授業～解説(代案)」という進め方は、大変参考になりました。先生方のお便りが手に入ったので、これを参考します。どうして、そういう指導をするのかを、論理的に考えて指導していること呂が勉強になりました。また、実際の子どものノートのコピーが手に入って参考になりました。

6年目教師

ノートの使い方を具体的に教えてもらうことは、この研修会以外ありません。大学や初任研ではこのような内容はありませんでした。若い教師が知りたくて、困っていることは、このような具体的なことなのです。

中堅教師男性

ほめるを意識しながら、参加しました。子ども役として、ほめられるとはどんな気持ちなのかを体感しながら、心地よく、参加することができました。私も先生方のように、子どもの立場に立った全員を満足させる授業をス目指していきたいと改めて思いました。

中堅教師 男性

黒板に答えが書かれ、教えなくても全員が言えること。また、反復練習により、定着させている。時間の使い方(早くできた子に対して)そして、ほめる。

声に出させ、全員の子に学習問題をはっきりさせる。やるべきことを明確に言ってあげることが大事だと分かりました。

<p>第4回 11月9日 午後 「いじめ・不登校への対処システム」</p>	<p>【第1講座】 いじめ・不登校への校内システムの必要性 いじめ・不登校への校内システム作り方 【第2講座】 いじめへの対応事例(小学校編) ①いじめの学級での対応事例(低学年) ②いじめの学級での対応事例(高学年) 【第3講座】 いじめへの対応事例(中学校編) ①学級での対応事例 ②いじめによる保護者対応の事例と原則 【第4講座】 不登校への対処 ①小学校の事例 ②中学校の事例と対策 【第5講座】 いじめ・不登校への対処 Q&A</p>
<p>アンケート内容 中堅教師男性</p> <p>いじめへの対応は、きちんとしたシステムで対応することが大事であることが分かりました。担任がその場で対応していくことが大事で、大きなことと小さなことを分けて指導すること。戦う場面をまちがえないこと。クラスを統率するために、勝てる場面で戦うこと。さらに戦いには必ず勝たなくてはいけない。いじめを根絶するために絶対に大事なことが分かりました。</p> <p>6年目教師</p> <p>いじめの発見システムで、子どもが休み時間にどう過ごしているのかを調査する方法に驚きました。子どもにわからないように「どんな遊びが流行っているか知りたいね。」と言って誰と遊んだかを聞くのは、有効だと思いました。今回の学びを、学校へ行って広めたいです。</p> <p>4年目教師</p> <p>いじめは絶対に許さない。毅然とした態度を取ることが大事だと改めて思いました。毎回の積み重ねこそ大事だと思いました。ここぞという時の勝負。もっとお話をお聞きしたかったです。こんな素晴らしいお話を無料で聞けるなんて、もったいない。次回は、仲間を誘ってきたいです。</p> <p>中堅教師男性</p> <p>具体的なお話を聞きし、ためになりました。不登校への対応は、専門家の知識が必要だと思いました。</p> <p>中堅教師男性</p> <p>一瞬・一瞬を大切に、早期に対応すること。本当にその通りだと思いました。これから具体的にやろうと思いました。勉強になりました。</p> <p>中堅教師男性</p> <p>全て、参考になりました。前の2回に参加できなかったのが、とてもとても残念です。いじめへの対応がすごく参考になりました。また、参加します。</p>	
<p>第5回 特別支援を要する子への基礎知識と対応(1)</p>	<p>【第1講座】 発達障害についての基礎理解(1) 【第2講座】 発達障害の子への実際に指導した具体例 【第3講座】 発達障害についての基礎知識と実際の指導 【第4講座】 Q A 【第5講座】 発達障害の指導について</p>
<p>中堅女性教師</p> <p>・校内研修に是非、来てほしい。どうしたら来ていただけるのか知りたい。 新卒5年目まで</p>	

・初めて参加し、日々の学校現場の中で似たような生徒が多く、「ある、ある。」と思いながら、聞かせていただきました。対応に関しては、してはいけないことをしてしまっている自分がいて、恥ずかしくなりました。これも弁勉強不足であるということが分かりました。月曜日からこの知識を生かしたいです。

中堅男性教師

・こういう賞状行動が発達障害の1つの症状というのが分かり、クラスの子どもを思い浮かべながら聞きました。その子を度見るのか…の自分自身の意識を変えなければいけないと感じました。

中堅女性教師

・具体的な事例で説明していただき、とても分かりやすかったです。ワーキングメモリーの話、不注意になったときの対応、非常に参考になりました。

中堅女性教師

・対応の仕方でも子どもが変わるということ。今まで自分がしてきたことが、子どもを悪化させていたことが分かり、ほめて育てることでクラスが変わっていきけるのではないかという希望が持てました。（ビデオのダメな例は自分を見ているようでした。）子どもの行動の意味を考え、共感していきたいと思います。

第6回 12月14日

特別支援を要する子への基礎知識と対応(2)

【第1講座】発達障害の子が育つ学級での指導(1)

【第2講座】発達障がい実際に指導した具体例

【第3講座】発達障がいの子が育つ学級での指導(2)

【第4講座】QA

【第5講座】発達障がいの指導について

6年から10年目まで 男性教師

・全て内容が濃く詰まっていて、頭の中が整理しきれているかどうか。たくさんの知識技術を教わった。対応を聞いているとすごいと思うが、視線を揃える・褒める・数でわかりやすく評価するはすぐできそうなことではあるので、それくらいは。実践していきたい。もっと勉強したい。ノルアドレナリン・ドーパミン・セロトニンの話が分かりやすく聞けたのでよかった。

中堅女性教師

・支援が減っていく支援は印象に残りました。卒業するまでに、自分でできることが増えるようにしていくことを考えると焦ってしまい、色んな要求を子どもも多tに求めてしまい、混乱させているかもしれません。小中学校でのいじめや不登校で二次障害と思われる子もいます。勉強になりました。

第7回 2月8日

新設道徳科に備えて、道徳の授業提案

大雪でキャンセル 10名

【第1講座】道徳の教科化最新情報+どんなやんちゃもルールが入るソーシャルスキルカルタ

【第2講座】教室にある心のノート 道徳授業で有効活用 子どものところにガツンとくる道徳授業

【第3講座】道徳の教科化で、道徳の評価! 道徳授業と評価法

【第4講座】TOSS有段者の道徳授業 体験 講師作成 道徳授業

【第5講座】TOSS有段者道徳模擬授業 体験 講師作成 道徳授業

中堅女教師

・いろいろな資料を示していただき、大変勉強になりました。明日からの授業に活かしていけそうなヒントがたくさんありがたかったです。（悪天候の中参加してよかったです。）

中堅男性教師

・道徳では「心や気持ち」を問うのではなく、「行動」を問う。

副読本を使った道徳の授業 「わかったこと・気が付いたこと・思ったこと」を書く場面を2階設定することが勉強になりました。

10年目男性教師

・道徳の授業を日々どうすればいいのか悩むことが多いです。年間35時間を無理なく続けることができるコツを教えてくださいました。副読本の使い方、子どもの動かしながら進めていくことをやってみようと思います。「これは伝えたい。」という大事なことは、力のある教材を使っていくことも納得しました。いじめの授業・阿部君の授業感動しました。

大雪のため、高速道路がストップ。清泉女学院大学の周りも、ずっと雪かきを人力でやってもらって駐車できた。キャンセル連絡が、当日たくさん届いた。

キャンセル10名

第8回 2月8日(土) 中学生が進んで学習に取り組み、力がつく英語学習 2月8日(土)

大雪のためキャンセル 11名

- ・リズムとテンポを考えた1時間の流れはこれだ。
- ・中学生も進んで取り組む英語の授業の仕組み
- ・英語で中学生がディベートができる。
- ・実践フラッシュカード講座
- ・実践発表タイム

中堅女性教師

・始めて講座に参加させていただきました。フラッシュカードの使い方を実践練習しました。普段も使っているのですが、改めて練習することで、自信がついたような気がします。熱意のある先生方と過ごすだけでも、元気になれたような気がします。また、参加してみたいと思います。

中堅女性教師

・リズム、店舗をやらせてもらい、今までも意識してたつもりでしたが、大変参考になりました。また、笑顔で自分が楽しくやらないと…ということ思い出させてもらいました。ありがとうございました。どれも、月曜日から実践したいと思います。

大雪のため、高速道路がストップ。清泉女学院大学の周りも、ずっと雪かきを人力でやってもらって駐車できた。キャンセル連絡が、当日たくさん届いた。

キャンセル11名

第9回 2月15日(土)

教師の指導力・学級トラブル解決講座・演習

大雪のためキャンセル23名

中堅女性教師

・全てが日常的に学校で起きていることで、自分が困ることも多々。どのお話も一言一言がとても参考になりました。雪の中頑張ってきてよかったです。

●小学生対応と中学生対応は、やはり違う部分も多いので、度トラ化に特化した講座もあるとうれしいです。

中堅女性教師

・中学生への睨んだ、ニラ真内への対応がすごく参考になりました。前、グループを直接対決させたら、えらい目にあいました。

・トラブルを解決するには、「授業を良くするしかない。」とお聞きした子おtが心にグサッ解きました。

・QAが良かった。自分の困ったことにすぐ対応していただけた。

, ●免許更新制度では、こういう具体的な内容を取り入れていただけることを望みます。

大雪のため、高速道路がストップ。清泉女学院大学の周りも、ずっと雪かきを人力でやってもらって駐車できた。キャンセル連絡が、当日たくさん届いた。

キャンセル23名

第10回 2月15日(土)

説明する力がつく算数授業・こども意見ですすめる国語指導

大雪で、キャンセル23名

【第1講座】説明する力がつく算数小学校中学年から高学年

【第2講座】説明する力がつく数学中学

【第3講座】説明する力がつく算数低学年

【第4講座】子どもの意見ですすめる国語指導 中学年

【第5講座】

子どもの意見ですすめる国語指導 低・高学年

若手男性講師

・見えないものが見えるように会えるのが授業だという言葉が心に残りました。良い発問が討論の活発化につながるということが体験を通してよく分かりました。指名なし音読は是非試してみたいと思います。

若手男性教師

・算数の授業が全く分からない中で4月から小学校勤務になります。授業の方をしっかりと身につけたいと思いました。教科書を使って強化y祖に書いてある解放を元に示して考えることが大事だと思いました。

・討論で同じ意見の人と相談していると自信を持つことができた。他の意見の人を任せてやろうと思った。そういう子どもの思いを感じることができたのはとてもよかったです。国語では、討論に挑戦してみたいです。

第11回 新年度に向けての学級づくり準備講座

隙間時間でできるゲーム

新年度準備に対する心構え

教室にオススメグッズ(教室環境)

教室にオススメ教材・教具

新年度オススメ授業

すぐ役立つフラッシュカード演習

新年度タイムスケジュールはこれがオススメ

QA講座

若手男性教師

・五色百人一首指導法 国語科として取り入れたい。できれば毎時間授業の最後で取り入れたいと思いました。

・隙間時間でできるゲーム コミュニケーションを気づくにはいい内容だと思いました。

参加は少なかったのですが、教師も生徒も元気になれるそういう内容でしたので、来年度もお願いしたいです。

若手女性教師

・子どもにとって、楽しいことゲームなどを取り入れる戸が急の雰囲気明るくなる学級が楽しくなる。

明るく楽しい学級を作りたいと思いました。その中d目尾ルール違反をしている子は見逃さない。クラス全体をよく見なければと思いました。ノート一冊つくること。四月を見返るに当たり、こんなに決めなければならないこと(準備すること)が多いのかと思いました。今日それが分かった私はラッキーでした。

先生の子どものかかわりは本当に温かいんだなあと思いました。優しいクラス 暖かいクラスを作るには、まず自分からかかわりを変えていかなければいけないと思いました。

●吉川先生のお話をまた伺いたいです。（清泉女学院大学教授）

●来年度も続けてほしいです。

●発達障害の子への対応をたくさん教えてほしいです。

●前回インフルエンザで参加できず残念でした。今年度一回のみでしたが、来年度も是非、お願いします。免許更新の講座もこういう内容だとうれしいです。

Ⅲ アンケート内容集約

①アンケートに書かれた内容は、肯定的なものばかりだった。

ア 実践的で楽しく受講できた。

イ 具体的な場면을提示して、対応や指導法を示してもらえたので、分かりやすかった。

ウ 学級で起こるトラブルに対して、どうしたらいいのか。なぜ、そうしたらいいのかを教えてもらったのでよかった。

エ また参加したい。来年度も続けてほしい。

② 参加者の動向とアンケート内容から分かった参加者のニーズ

- ・一番多かったのは、特別支援対応の講座だった。現場では、特別支援の子どもへの対応に苦慮していることが伺えた。
- ・他の講座では、学級トラブルに関する講座へのニーズが高いことが伺えた。
- ・国語や算数と特化すると対象となる教師が限られてしまうので、参加者数が減ることが分かった。
- ・特別支援の必要な子への指導法を求めていることが分かった。現場では、基礎知識が不足し、怒鳴って指導する等対応の間違いから二次障害を起こしていることが伺えた。特に小学校で早く対応しないと、中学校で二次障害がひどくでてしまい困っている方が多いこともうかがえた。

Ⅳ 成果と課題

成果

- ・全県の小中学校へチラシを配布した。こういった講座を初めて知った方にご参加いただけて、連続参加される方も何人もいた。
- ・講座内容が具体的だったこと、基礎知識や対応の基本を知ることができたことが良かった。明日にでも現場で使いたいと思われたこと。
- ・来年も参加したい。こういった講座があったら、知らせてほしいという方が多かった。
- ・知らなかったことがたくさんあった。勉強不足だったと書かれていた方がいた。

課題と解決策

- ・チラシ配布が遅れてしまったことが、課題。
- ・意外と土曜日は、学校行事が多いので、参加できないという方もいた。日曜に開催のほうがよかった。
- ・例年になく大雪で、当日キャンセルが相次ぎ、講師も高速道路が止まり新幹線に乗り換えて、何時間もかけて到着した講師もいた。冬に開催しない方が良かった。
- ・休みの日まで、研修するのかという雰囲気教育現場にあるため、こういった無料の講座でも参加しない方が多い。強制的に受けなければならない教員の免許更新制度は、重要である。参加すると、ほんの少し単位がもらえるような仕組みを、取り入れたら参加者が増えると考えられる。

